

たけのこ

JRおおいたシティ

平成27年第一回臨時会が開会 新たな県議会議員体制で初議会

－ 選挙後の臨時会を招集 －

平成27年4月12日執行の大分県議会議員選挙により、大分県議会の新たな構成員が決まり、5月14日に選挙後の初議会（平成27年第1回臨時会）が招集されました。

初日の日程では、議席の決定のほか、正副議長の選挙、各常任委員の選任等が行われました。

2日目の日程では、各委員会の正副委員長の互選結果等の報告があった後、知事から議案の提案理由が説明されました。

今回は、監査委員と教育長の人事案件のほか、平成26年度補正

予算及び大分県税条例等の一部改正の専決（詳細は裏面）について審議しました。

－ 初議会で、初採決 －

大分県税条例の改正について、他会派の議員から質疑・討論があり、採決に入りました。

私は、執行部からの提案内容に特段の問題もないと判断し、賛成の意思を示しました。

今臨時会へ上程された議案は、すべて執行部からの提案どおり決定され、私の初議会は閉会となりました。



▼所属会派は“県民クラブ”

当選した議員は、初議会まで自らが所属する会派を、議長に届け出る必要があります。

私は、連合大分推薦議員で構成する「県民クラブ」（14人）に所属する旨を届け出ました。

▼議席番号は“22番”

各議員の所属会派の届け出を受け、今臨時会で、議席決定の件が諮られました。

議場から「異議なし」の声が出され、上程された議席番号表により、私は「22番」で、議場での着席位置（議員側最前列・下図参照）も決まりました。

（執行部側）

公安委員長	教育委員長	副知事	副知事	知事
-------	-------	-----	-----	----

（議員側）

43	41	22 木田	21
----	----	-------	----

* 数字は議席番号



商工労働企業委員会委員に選任

今臨時会で、「商工労働企業委員会」（委員7人）の委員に選任されました。

本委員会では、商工労働部、企業局、労働委員会の所管に属する事項について審査します。

なお、所管する具体的内容は右のとおりです。

【常任委員会とは】

地方議会に設置する常任委員会は、その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査を行い、議案、請願等の審査を行う。

（商工労働部関係）

工業・産業技術などの振興、産業の活性化、情報化の推進、企業立地の推進、雇用対策の推進、金融対策等

（企業局関係）

水力発電で発生した電力を販売する電気事業、及び大分新産業都市区域内の企業へ工業用水を供給する工業用水道事業

（労働委員会関係）

不当労働行為からの労働者救済や、労働争議のあっせん・調停・仲裁



大分県議会 県民クラブ

現在、大分県議会議員の定数は43です。そのうち、連合大分推薦の議員14人で、会派“県民クラブ”を結成しています。

- 34 久原 和弘 (臼杵市・6期目)
- 33 平岩 純子 (大分市・4期目)
- 32 玉田 輝義 (豊後大野市・3期目)
- 31 尾島 保彦 (宇佐市・2期目)
- 30 馬場 林 (中津市・2期目)
- 29 小嶋 秀行 (大分市・2期目)
- 28 原田 孝司 (別府市・2期目)
- 27 藤田 正道 (大分市・2期目)
- 26 守永 信幸 (大分市・2期目)
- 25 三浦 正臣 (日出町・2期目)
- 24 二ノ宮健治 (由布市・1期目)
- 23 羽野 武男 (日田市・1期目)
- 22 木田 昇 (大分市・1期目)
- 21 後藤慎太郎 (大分市・1期目)

*数字は議席番号、
かっこ内は選挙区・当選回数

平成27年第一回臨時会にて 同意・承認された議案等

(議案)

- ①第64号議案 監査委員の選任について
- ②第65号議案 教育委員会教育長の任命について

(報告)

- ③第3号報告 平成26年度大分県一般会計補正予算(第6号)
- ④第4号報告 大分県税条例等の一部改正について

【議案等の内容】

- ①県議会議員のなかから「玉田輝義」氏と「御手洗吉生」氏を監査委員に選任することに議会の同意を求めるもの
- ②教育委員会教育長に「工藤利明」氏(元大分県農林水産部長)を任命することに議会の同意を求めるもの
- ③10億6,883万2千円の増額補正に関する専決報告(県税、地方交付税の歳入増と職員の退職手当の確定による歳出減に伴い生じた財源を、県有施設の計画的な保全に備える県有施設整備基金に20億円積み立てる)
- ④地方税法の一部改正(外形標準課税の拡大、エコカー減税対象車の一部継続措置等)に伴い、法人事業税や自動車取得税等に係る規定の整備を行う専決報告

会派“県民クラブ”にて、上程された議案等の取扱いについて議論しましたが、いずれの内容についても異論なく、同意・承認する立場で本会議に臨みました。

大分県議会議員 木田 昇

- 1967年(s42) 竹田市(田町)に生まれる
“ラムネ”、“もやし”、
“こんにゃく”の製造・
販売を営む“玉屋”の三男
- 1979年(s55) 竹田小学校卒業
- 1983年(s58) 竹田中学校卒業
- 1986年(s61) 竹田高校卒業
- 1990年(h2) 大分大学経済学部卒業
- 1990年(h2) 竹田市臨時職員として
大水害の復旧に従事
- 1991年(h3) 大分市役所へ入庁
- 2014年(h26) 大分市役所を退職
- 2015年(h27) 大分県議会議員選挙に当選

(現在)

大分市南太平寺に暮らして23年目
大分県議会商工労働企業委員会委員

竹の子記

県議選への決意を固め、昨年の秋から約半年間にわたり、様々な活動に取り組みました。

この間、たいへん多くの皆さんから、お支えいただいたり、また、お励ましをいただいたり、とにかく感謝の気持ちでいっぱいです。

今回当選した43人のうち、11人が二期目の新人県議です。

新人の中でも、市議会議員選挙等の経験がある人が大半で、私も含め、初めて選挙の「洗礼」を受けた全くの新人は僅かのような感じです。

早速6月から、商工労働企業委員会の管内所管事務調査のため、県関連の施設・事業所等を延べ7日間かけて県下全域を視察します。

初めて臨んだ県議会の議場で、の出来事は、いずれも初経験で緊張の連続でした。(知りませんでしたが、議場内へ携帯電話は持ち込めません。また、礼儀作法や身のこなしにも気を遣います)

文字どおり「ピッカピカ」の一年生議員です。焦らず、じっくり勉強し、人口減を始め、山積する課題解決に向けて全力で頑張ります。